

プラスチックごみモニタリング調査を実施しました

県内 3 河川の上流・中流・下流及び河口付近の海岸で、参加者の方々とプラスチックごみの実態を調べ、マイクロプラスチックを含めた海ごみ問題について学びました。

【高瀬川調査】2019年8月3日（土）

三豊市を流れる高瀬川流域でプラスチックごみのモニタリング調査を行いました。今回は親子含めて 28 人の県民の方々にご参加いただきました。

今、世界的な問題となっているマイクロプラスチックがどこから海に運ばれてきているのかを調べるため、上流、中流、下流、河口近くの海岸でプラスチックの種類や劣化具合を調査シートに記入しながら、ごみの回収を行いました。

同じ条件で回収したごみの量は上流が 9.3kg、中流が 3.6kg、下流が 14.6kg、海岸が 18.9kg になりました。上流ではタバコフィルターやレジ袋にまとまったごみなど明らかにポイ捨てされたものが多く、下流に近づくにつれ破片化したごみが増えてきました。

参加者からは、「思っていたよりもごみが多かった」「下流に近づくにつれごみが小さくなっている」「道路脇にはタバコフィルターが多い」などの意見や気づきがありました。

子どもたちがかなり積極的にごみを集めているのが印象的でした。



上流調査の様子



中流調査の様子



下流調査の様子



海岸調査の様子



マイクロプラスチック説明



集合写真

【香東川調査】2019年8月10日（土）

高松市を流れる香東川流域でプラスチックごみのモニタリング調査を行いました。今回は親子含めて22人の県民の方々にご参加いただきました。

上流、中流、下流、河口近くの海岸でプラスチックの種類や劣化具合を調査シートに記入しながら、ごみの回収を行い、同じ条件で回収したごみの量は上流が1.8kg、中流が1.1kg、下流が3.9kg、海岸が7.6kgになりました。

下流では使用済み花火が、また、海岸では風と波で打ち寄せられたと思われるペットボトルがテトラポットの隙間にたくさん見つかりました。

参加者からは、「下流は上流より整備されているが細分化されたごみが多い」「川の中州部分や端の草木の影にごみが多い」などの意見や気づきがありました。



上流調査の様子



中流調査の様子



下流調査の様子



海岸調査の様子



マイクロプラスチック説明



集合写真

【鴨部川調査】2019年8月17日（土）

さぬき市を流れる鴨部川流域でプラスチックごみのモニタリング調査を行いました。今回は親子含めて12人の県民の方々にご参加いただきました。

上流、中流、下流、河口近くの海岸でプラスチックの種類や劣化具合を調査シートに記入しながら、ごみの回収を行い、同じ条件で回収したごみの量は上流が3.1kg、中流が2.1kg、下流が5.6kg、海岸が4.1kgになりました。

上流ではタバコのフィルターやペットボトルが多く、下流では植木鉢や肥料袋などがあり、ごみの種類が増えました。

参加者からも「下流で川幅が広くなりごみの種類が増えた」「車のバッテリーなど明らかに不法投棄されたものがあった」などの意見や気づきがありました。



上流調査の様子



中流調査の様子



下流調査の様子



海岸調査の様子



マイクロプラスチック説明



集合写真